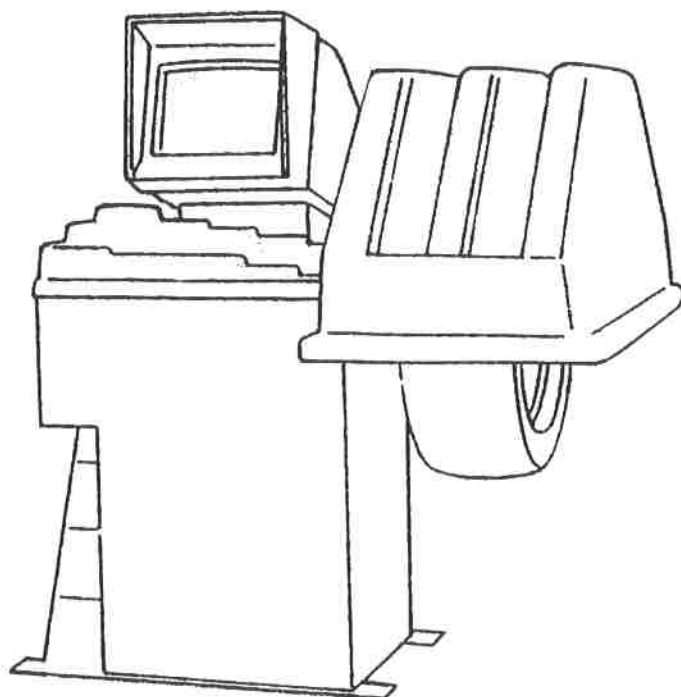


取 扱 説 明 書

VISUAL COMMUNICATION SYSTEM
SUPER MONITOR BALANCER

ダイナマックス

DX-8021型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



注 意

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベルの貼り付け位置、内容	3
(2) 危険、注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1) 本体部の名称	7
(2) 操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1) スクリーンセイバー(水族館)について	9
(2) ホイールの操着手順	9
(3) モード切り替え	10
(4) ホイールデータの入力方法	10
(5) 測 定	11
(6) ウエイトの取り付け	12
(7) 修正結果の確認	12
(8) マッチングシステム	12
(9) アダプターキャンセル機能の使い方	14
(10) LT・MCタイヤの測定方法	14
6. 標準付属品・特別付属品	15
7. 定期点検	16
(1) 定期点検	16
(2) 消耗品	16
8. 故障と処置	16
9. 仕様	17
10. 製品保証規定	18
(1) 保証規定	18
(2) 保証請求方法	18
(3) アフターサービスについて	19
(4) 設置(据付)及び移設について	19

1. まえがき

この度は弊社のホイール balanser をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用下さい。
取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機
の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分
なご理解のうえ正しくご使用下さい。
尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き万一紛失、汚損された場合は、速や
かに購入のうえ、正しく保管、貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balanser は普通乗用車のホイールバランスを測定、修正することの出来るホイー
ル balanser です。
尚オプション部品を取り付けることによって、ライトトラック・モーターサイクルのホイール
バランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告事項



警告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危険……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警告……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注意……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1)警告ラベル貼付位置・内容

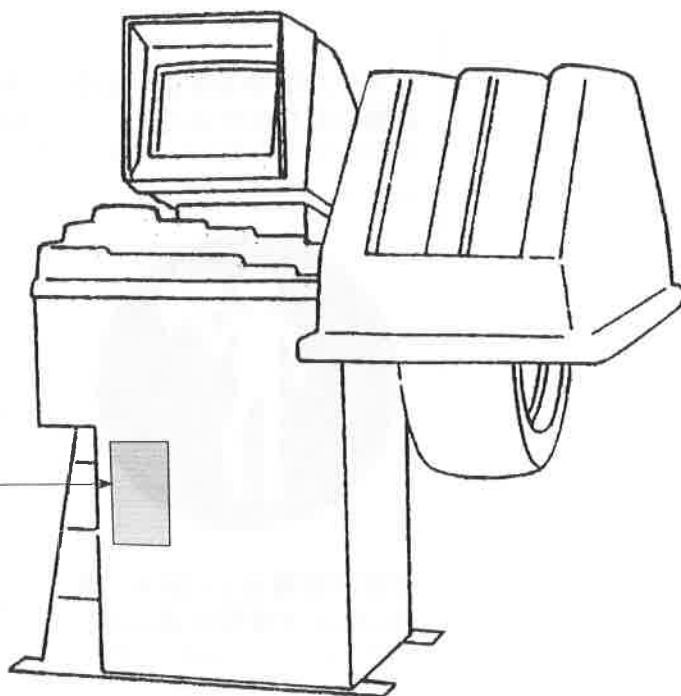


注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。

警告ラベル貼付位置

 警 告	
 運転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないうこと。 事故を招いて怪我をすることがあります。	 運転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ワゴンが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう 確実に取り付けること。 運転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ワゴンが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により、重大な事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルancerの取り換え方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。



警告ラベル内容

下記警告ラベルが本体に貼付されています。

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて怪我をすることがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること 誤操作により、思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバランサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにSTOPスイッチを押し直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩くでいるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウェイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等はすべて取り除いてください。
- (6)スタートボタンを押す前に必ずホイールガードをセットしてください。
- (7)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は水洗いを絶対にしないでください。
- (9)本機を移動する場合は主軸をもって移動したり衝撃を主軸に与えないでください。
- (10)モニター画面(テレビ画面)はガラスの表面に特殊なフィルムを貼ってありますので、金属性の硬いものでたたかないでください。
また、汚れを拭き取る場合は、中性洗剤をほんの少し染み込ませ軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。

元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。

※死亡または重傷の可能性があります。



(3)一般的な注意事項

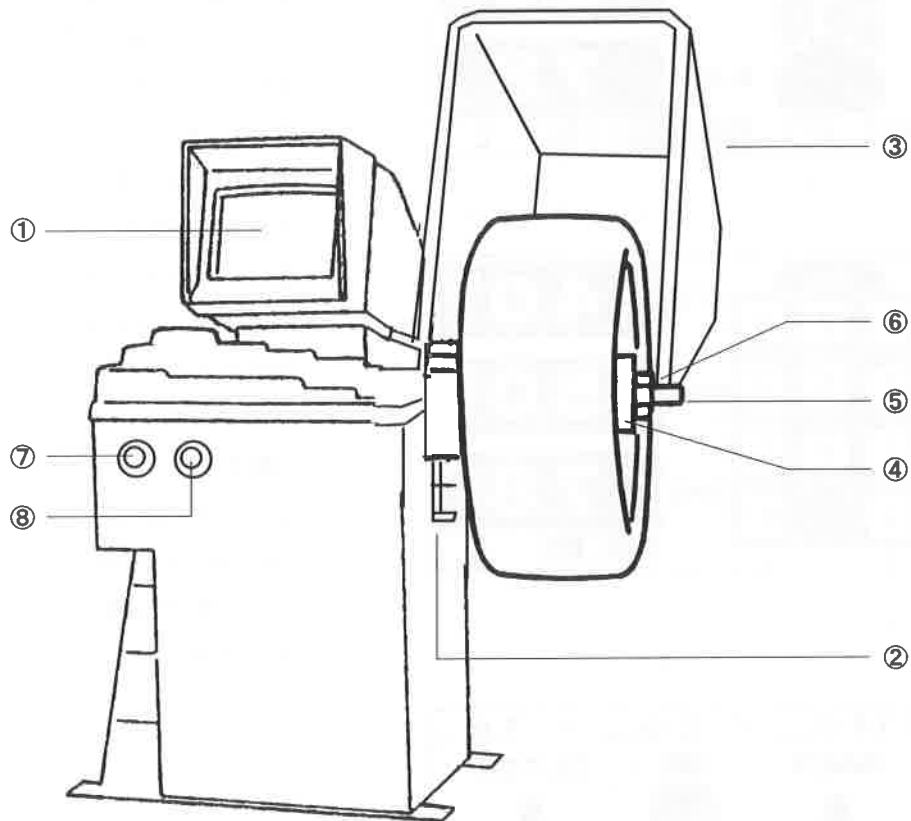
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時はホイールバランサーの使用を禁止して電源を切りお買上の販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルト4本でしっかりと固定して使用してください。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸をもって異動したり衝撃を主軸に与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤3相200Vの配線工事は必ず動力工事有資格店にご依頼ください。
電源は本機の近くに必ず1.5kW以上の専用ブレーカを設置してそこから配線してください。
又本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。

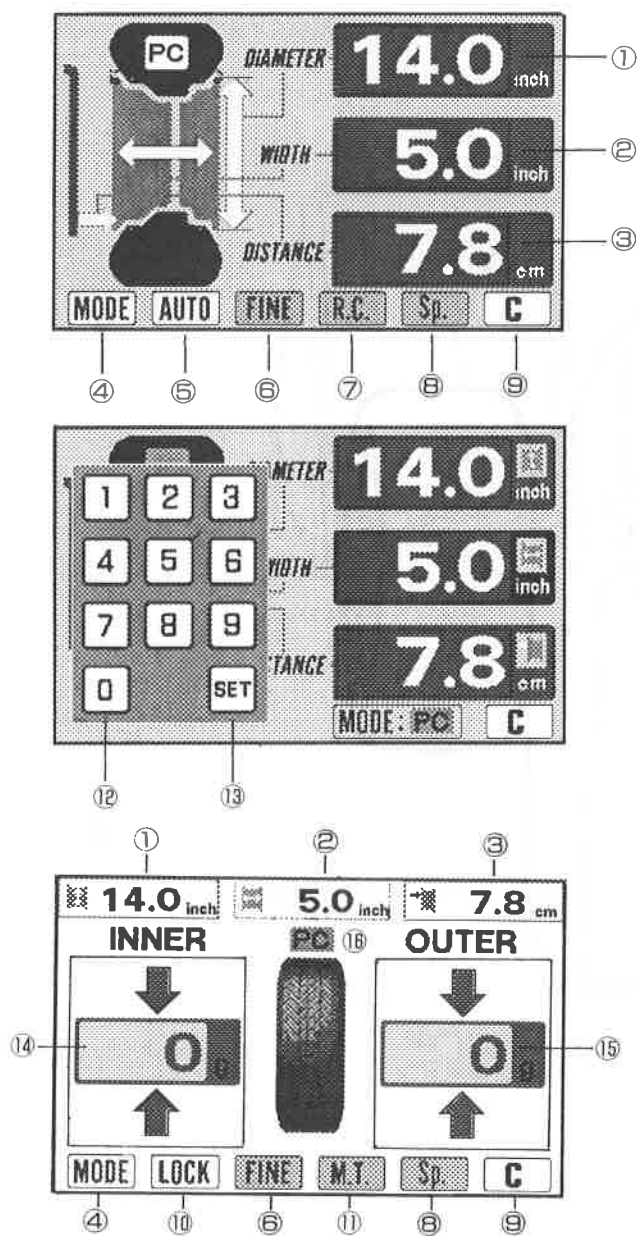
4. 各部の名称

(1) 本体部の名称



- ①操作部
- ②ディスタンススケール
- ③ホイールガード
- ④カップ
- ⑤センター軸
- ⑥ウイングナット
- ⑦スタートスイッチ
- ⑧ストップスイッチ

(2)操作部の名称



- ① リム径表示、リム径スイッチ
- ② リム幅表示、リム幅スイッチ
- ③ ディスタンス表示、ディスタンススイッチ
- ④ モードスイッチ
- ⑤ アルミオートスイッチ
- ⑥ ファインスイッチ
- ⑦ 再演算スイッチ
- ⑧ スペシャルスイッチ
- ⑨ キャンセルスイッチ
- ⑩ ロックスイッチ
- ⑪ マッチングスイッチ
- ⑫ 数字キー
- ⑬ セットスイッチ
- ⑭ イン側グラム表示
- ⑮ アウト側グラム表示
- ⑯ モード表示

5. 操作手順

(1) スクリーンセ이버(水族館)について

電源を入れると画面は最初に魚が色々現れる画面となりますが画面に触れるか自動入力によってデータを入れるとデータ設定画面に変わります。

また10分以上バランスーを使用しないでいると自動的に水族館の画面に変化します。またデータ設定画面もしくは測定画面時にCスイッチを押すと水族館画面に変わります。

(2) ホイールの装着手順



注意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いて下さい。

ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けて下さい。

(A) バックコーンを使用する場合

① ダックコーンとして使用する場合

図のようにセンター軸にバックスプリングと、ホイールのハブ穴に合ったコーンを入れ、ホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーを用いてウイングナットでホイールを締め付けます。

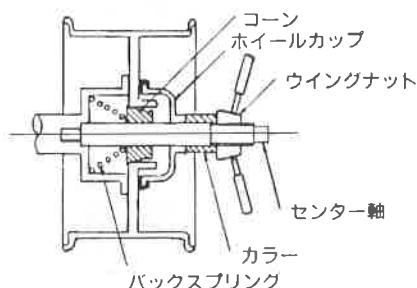
この時、図のようにコーンが奥まで入り込むような場合はバックスプリングとコーンの間へ、一番短いカラーを入れて使用して下さい。(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします。)

[注]コーン3Lはバックコーンとしては使用できません。

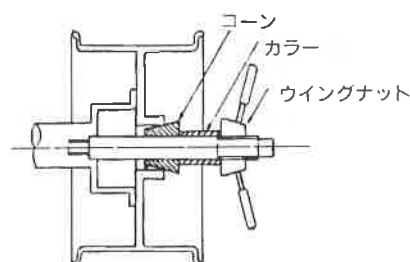
② フロントコーンとして使用する場合

図のようにハブ穴に適合したコーンと、カラーを用いてロックナットで締め付けます。

① バックコーンとして使用する場合



② フロントコーンとして使用する場合



(B) フランジアダプター使用の場合

セットスタンド上にフランジアダプターを置き、ホイールをその上へのせ、ボルトの穴を合わせます。次にボルトでホイールをアダプターに固定し、アダプターをコーンとクイックナットで確実に固定して下さい。バランス修正が終わったならば、再びセットスタンドの上へ戻し、ボルトをゆるめます。

(3) モード切り替え

MODE モードスイッチを押すとPC ➡ AL ➡ LT ➡ ST ➡ PCの順にモード選択されモード表示が変化します。

(4) ホイールデータの入力方法

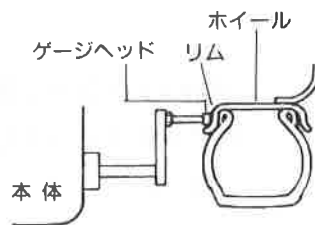
ディスタンス(出寸法)、リム径の入力

ディスタンスゲージのヘッドを図の様にリムに当てるだけでピーという音と共に入力されます。尚、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますのでこの様な場合はもう一度ゲージを戻してから再度設定してください。

(約一秒間停止しているとセットされてしまいます。)

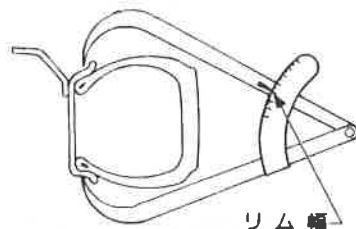
ディスタンスゲージは確実に元に戻して下さい。

(戻っていない場合はスタートボタンを押した時に画面にD寸法ゲージを戻してくださいと表示されます。)



リム幅入力

リム幅ゲージを図の様にイン、アウト側に当てゲージを読みとりたとえば4.5Jの場合リム幅スイッチを押すとキー入力画面に変わりますので **4 5 SET** と押すと入力され数字キーは消えます。



手動入力の場合

リム径手動入力の場合

たとえば13インチの時、リム径スイッチを押すとキー入力画面に変わりますので **1 3** **0 SET** と押すと入力され数字キーが消えます。

アルミホイール内面取り自動入力の場合

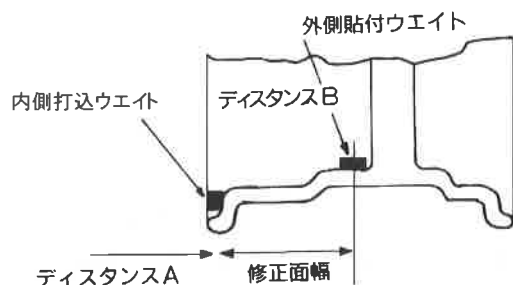
モードはPCモードでディスタンススケールをイン側の打ち込み位置もしくは張り付け位置の中心に当て入力します。入力が終わったらスケールを戻し **AUTO** スwitchを押して下さい。

画面にD寸法ゲージをアウト側に入力してくださいと表示されます。

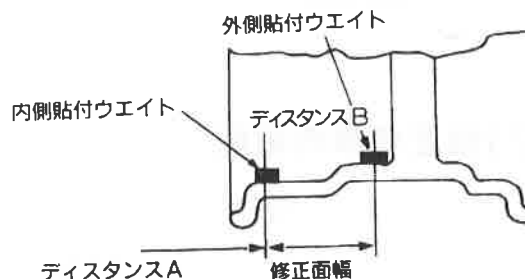
次にアウト側の張り付け位置の中心にディスタンススケールを当て入力して下さい。入力されますとTVにアルミ内面取りと表示されます。

入力が終わったらスケールを完全に戻して下さい。

【例1】



【例2】



注 意

ホイールが深くスケールがアウト側入力位置まで十分に届かないときは届く所までスケールを引き出して入力した後スケールを戻して次に修正面幅を物差しで測った値をcmで入力して下さい。

(たとえば修正面幅が14.5cmならばリム幅入力スイッチを押しキー画面を出し **1** **4** **5** **SET** と押して下さい。)

C スイッチもしくは **MODE** スイッチを押すとアルミ内張りモードは解除されます。

アルミホイール内面取り手動入力の場合

MODE スイッチでALモードに切り替えて下さい。

ディスタンススケールを内側の打ち込み位置もしくは張り付け位置の中心に当て入力します。

次に修正面幅を物差しで測った値をcmで入力して下さい。

(たとえば修正面幅が10.5cmならばリム幅入力スイッチを押しキー画面を出し **1** **0** **5** **SET** と押して下さい。)

(5)測定

スタートボタンを押すと測定が始まり約6秒でアンバランス量とポジションが表示され自動停止します。

(6)ウェイトの取り付け

矢印に従いタイヤを手で回していくとアンバランスポイントでブザー音とグラムが点滅します。

アンバランスポイントでホイールの真上の位置に指定されたウェイトを取り付けて下さい。

LOCK スイッチを押すとアンバランスポイントで約15秒ブレーキがかかります。

再度 **LOCK** スイッチを押すとロックモードは解除されます。

(7)修正結果の確認

ウェイトの取り付けが終了した後、再度スタートボタンを2度押し測定します。

バランス修正がOKならば画面にOKと表示されます。1度でOKしない場合は表示したがってウェイト取り付けてください。

ファインスイッチ

OKした場合でも若干のアンバランス残留しています。**FINE** スイッチ押す事によって7g以下のアンバランス量が表示されます。またこの **FINE** スイッチによってgが5g単位から1g単位に変わります。

再度 **FINE** スイッチを押すと通常状態に戻ります。

なお、FINE の状態で測定しますと、測定時間が約10秒にのびます。

(8)マッチングシステム

マッチングシステムとはタイヤ、ホイールのアンバランスを各々求めてアンバランスが最小となるタイヤとホイール組み合わせを指示するシステムです。

以下の操作はいずれも不正確な作業がありますと正確なマッチングが出来ませんので注意してください。

通常のアンバランス作業を行っていてアンバランスが大きい場合(1応50g以上を目安とする。)とかランアウトの狂いが大きい場合おこないます。

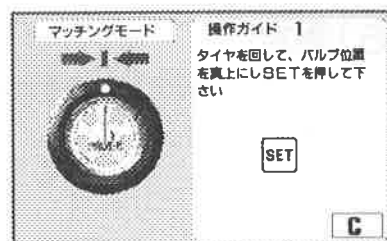


注 意

スタチックアンバランス量が30g以下の場合はマッチングモードには入りません。

①通常のバランス測定を行います。

通常のバランス測定を行った後 **M.T** スイッチを押すとマッチング画面の操作ガイド1に変化します。



画面に従ってタイヤを回してバルブ位置を真上にして**SET**スイッチを押すと操作ガイド2に画面が変わります。

②いったんタイヤをバルンサーからはずし、チェンジャ等でタイヤをホイールに対して180°組み替えます。再びタイヤをバルンサーに装着してスタートスイッチを押してアンバランスを測定します。

③自動停止と共に操作ガイド3に画面が変わります。

手でタイヤを回してバルブ位置を真上にして**SET**スイッチを押しますと操作ガイド4の画面に変わります。

④矢印方向にタイヤを回して矢印が点滅する位置でタイヤの真上にマークをつけてください。再度タイヤをバルンサーからはずしてこのタイヤのマークとバルブが一致する様に組み替えて下さい。

以上でマッチングが終了ですが**MEAS**スイッチを押した後通常のバランス測定を行ってください。

マッチングシステム操作上の注意

○マッチングを途中で中止する場合は、**C**スイッチを押して下さい。通常の測定モードに戻ります。

○操作ガイド4の作業を行った結果マッチングポジションがバルブ位置に対して30°以内の場合はマッチングOKと考えて結構です。

○タイヤとホイールのかみあいが悪い場合(ビードが完全に上がっていない場合など)、マッチング途中のタイヤ内圧が著しく違う場合、不適切な作業をした場合などは正常なマッチングが出来ません。

(9)アダプターキャンセル機能の使い方

LTコーン、MCアタッチメント等を使用する場合は取り付け誤差を取りの除く機能としてアダプターキャンセルがついています。

SP スイッチを押すとキー入力画面となりますので **1** のスイッチ押して下さいそうするとアダプターキャンセルモードとなります。

LTコーンなどをのアダプターを取り付けてからスタートスイッチを押して測定してください。停止した時点で取り付け誤差がコンピューターに取り誤差の値が記憶されます。

(10)LT、MCタイヤの測定方法

アダプターキャンセル機能を使わない時は電源スイッチを切るかCスイッチを押して使って使用してください。

アダプターの使用方法是アダプターに付属の取扱説明書をお読み下さい。

LTタイヤの場合はモード切り替えスイッチでモードをLTにしてお使いください。

MCタイヤ、及びスタチックアンバランス測定の場合はモード切り替えでモードをSTにしてお使いください。

6. 標準付属品・特別付属品

●標準付属品

- ①コーンS.M.L.L L.3L
- ②カップ
- ③バックスプリング
- ④カラーC 1. C 2. C 3
- ⑤ウイングナット
- ⑥センター軸
- ⑦タイヤパス
- ⑧ウエイトプライヤー
- ⑨アンカーボルト
- ⑩センター軸締め付けボルト(3本)
- ⑪締め付けレンチ
- ⑫取扱説明書
- ⑬保証書

●特別付属品

- A. フランジアアダプターセット
 - ①4穴フランジアアダプター
 - ②3. 5穴フランジアアダプター
 - ③フランジボルト
 - ④セットスタンド
- B. MCセット
- C. LTコーン
- D. ホイールガード

7. 定期点検

(1) 定期点検

期 間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
期間 3ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2) 消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・摩耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト5M-2-1250		1	1 / 1 台

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時には、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のプレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のプレーカのヒューズのうち1本が切れている。	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない。	タイヤの中に異物、水などが入っている。	異物、水などを取り除く。

その他の症状について

(1) バランスの修正ミス(イン・アウトの修正位置が逆になっているとか修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(50gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの打ち込み位置のそれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

9.仕様

型 式	DX-8021
電 源	200V3相
モ ー タ ー	0.4kW
回 転 速 度	約240rpm
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定
適用ホイール径	10"～24"
適用ホイール幅	2"～15"
測 定 重 量	最大75kg
測 定 範 囲 g	0～500g
本 体 重 量	約200kg

10.製品保証規定

(1)保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は補償いたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 e t c)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

このホイールバランスは屋外設置及び防水使用になっておりませんので、錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

(2)保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせ下さい。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせ下さい。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社 名 担当者
	住 所 電 話
設 置 業 者	社 名 担当者
	住 所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 ダイナマックス ホイールバランサー

型 式 **DX-8021 型**

初 版 発 行 月 日	平 成 7 年 7 月 1 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-------------------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。



小野谷機工株式会社

本社／福井県武生市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)784-1080	新潟	☎(025)287-1310
仙台	☎(022)255-7408	名古屋	☎(052)354-1021
秋田	☎(0188)64-7875	大阪	☎(06)727-8505
東京	☎(03)3975-2001	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡して下さい。